

令和5年度 消費者支援功労者表彰 被表彰者等一覧

1. 内閣総理大臣表彰 5件

(1) 個人(4件)

(敬称略)

氏名	住所	職業・役職	主な活動実績
たむら くみ 田村 久美	岡山県倉敷市	川崎医療福祉大学准教授	・ 岡山県の消費者教育コーディネーターと連携して、医療サービストラブルの未然防止につながる有効情報などについて調査研究を進め、その成果を具体的に反映した高齢医療消費者向け医療サービストラブル未然防止のためのリーフレットを監修するなど、行政とも連携しながら消費者教育の推進に貢献。
はら さなえ 原 早苗	東京都目黒区	元消費者委員会事務局長 消費者問題研究家	・ 金融オンブズネット代表として活動し、国民生活審議会委員、消費者行政推進会議委員、金融審議会委員等を務めるなど、消費者団体等において長年精力的に活動した。 ・ 消費者問題等について教育、研究を行い、消費者団体や消費者委員会事務局長の過去の経験を生かし、消費者代表として消費者教育推進会議の委員を務めた。
ばんどう としや 坂東 俊矢	京都府亀岡市	京都産業大学大学院法学研究科教授 片山・平泉法律事務所弁護士	・ 京都産業大学等で民法や消費者法、消費者政策を教える傍ら、社会活動として、特定非営利法人消費者ネット関西 副理事長や特定適格消費者団体消費者支援機構関西常任理事等を歴任し、消費者団体訴訟制度を始めとする消費者被害救済制度の確立に尽力されているとともに、関西の消費者活動において中核的な存在として精力的に活動。
やまもと りょういち 山本 良一	東京都新宿区	一般社団法人日本エシカル推進協議会 栄誉会長 東京大学名誉教授 東京都公立大学法人理事長	・ 材料工学及び環境学の研究に従事し、環境問題等の研究の過程でエコプロダクツやグリーン購入法などを通じて、環境問題に対し財貨や役務の生産面と調達面の双方からアプローチし研究。 ・ 一般社団法人日本エシカル推進協議会において、会長職等のほか「倫理的消費」調査研究会の座長を務め、エシカル消費に関する消費者への普及啓発に貢献。

(備考) 記載内容は原則として推薦時点のものである。

(2) 団体(1件)

(敬称略)

名称	住所	主な活動実績
あいちけんりつ あんじょうりんこうとう がっこう 愛知県立安城農林高等学校	愛知県安城市	・ 2017年より、希少なニホンミツバチを保護する「プロジェクトBee(ビー)」に取り組む。 ・ 生徒が教科「農業」の学びを生かし、地域と連携する中でニホンミツバチの養蜂に取り組んでいる。また、生徒が採取するハチミツを使用した商品開発を通して消費者支援活動にも貢献。

(備考) 記載内容は原則として推薦時点のものである。

2. 内閣府特命担当大臣表彰 11件

(1) 個人(8件)

(敬称略)

氏名	住所	職業・役職	主な活動実績
あおさき ただし 青崎 孔	長崎県西彼杵郡	長崎県消費者教育推進員	<ul style="list-style-type: none"> 教育・啓発業務を主担当とする消費生活相談員・消費者教育推進員として、これまでの教員としての知識・経験を活かし、学校、団体、地域での啓発講座や事業所内研修での講師を積極的に務めた。 消費者教育の人材育成にも積極的に取り組み、長崎県教育センターにおける教員研修等において消費者教育の重要性や実践的な技法について講義を行い、県内消費者教育の充実に貢献。
おじま ゆきこ 尾嶋 由紀子	神奈川県鎌倉市	公益社団法人全国消費生活相談員協会 常務理事 鎌倉市消費生活センター統括消費生活 相談員 鎌倉市消費生活委員会委員 鎌倉市消費生活紛争調停委員会委員	<ul style="list-style-type: none"> 20年以上にわたり消費生活相談員として多くの消費生活相談を受け解決に導き、また、他の相談員へ助言・指導に努め、相談対応力の向上に尽力。 消費生活の基礎知識等の普及啓発を行う講座の講師を務めるほか、刊行物等の発行に関与し、市民の消費者意識向上及び知識の定着に貢献。 10年以上にわたり消費生活委員会委員及び紛争調停委員会委員を務め、市の消費生活行政に尽力。
かわもり けいじ 河森 計二	北海道札幌市	札幌市消費生活審議会会長 小樽商科大学商学部企業法学科教授	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年4月に札幌市消費生活審議会審議委員に就任し、平成27年から当審議会会長を務め、札幌市民の消費生活の安定及び向上に資する消費者施策の方向性やあり方について、学識経験に基づき先駆的な意見、提案を行ってきた。 大学教員として、講義等を通じて契約に伴う責任の重要性やエシカル消費の考え方についての指導、啓発に尽力。
くりばら ゆきこ 栗原 由紀子	宮城県仙台市	尚絅学院大学総合人間科学系社会部門 教授	<ul style="list-style-type: none"> 日本消費者法学会に所属し、消費者法の研究者として、大学での講義を通じて消費者法の学問及び実務の発展に尽力。 2009年8月から現在まで13年にわたり宮城県消費生活審議会の委員を務め、様々な消費者被害に着目し、消費者トラブルの背景から被害状況、相談状況を分析し、学識経験者として専門的な助言をするなど消費者行政の推進に貢献。
こさか じゅんこ 小坂 潤子	東京都世田谷区	独立行政法人国民生活センター消費生 活専門相談員(非常勤職員) 消費者庁製品事故情報検討会委員 消費者安全調査委員会専門委員	<ul style="list-style-type: none"> PIO-NET、医療機関ネットワーク事業、医師からの事故情報収集窓口に寄せられた国内外の危害・危険情報などを収集・分析し、注意喚起情報を迅速に発信。 苦情相談処理のための情報として「製品関連事故情報」に携わり、全国の相談担当者に共有を図り、消費者の被害の防止及び救済に貢献。
しみず かほる 清水 かほる	愛知県春日井市	名古屋市消費生活指導員	<ul style="list-style-type: none"> 名古屋市消費生活センターにおいて21年以上にわたり消費生活相談員、消費生活指導員等を勤め、市民からの消費生活相談に対応し、地域や全国の消費生活の安定向上のために尽力。 消費者庁消費者教育推進会議委員、内閣府消費者委員会委員等を務め、消費者被害の未然防止の観点から意見を述べるなど、全国の消費生活の安定向上のために尽力。
ひぐち ようこ 樋口 容子	京都府京田辺市	消費生活相談員	<ul style="list-style-type: none"> 奈良市消費生活センターにおいて相談員として相談の最前線で活躍をしながら、公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会西日本支部長兼本部代表理事兼副会長として、消費生活相談、消費者教育、企業・行政・消費者間の連携において熱心に取り組んでいる。
みずたに せつこ 水谷 節子	愛知県名古屋市	ノートルダム清心女子大学名誉教授	<ul style="list-style-type: none"> 生活者を「消費者」の側面で見え、様々な視角・視座から研究し、学校教育における教材の開発、教員指導や日本消費者教育学会に多大な影響を与え、消費者教育研究の進化に貢献。 消費者教育に関わる人材育成及び一般市民への啓発活動に尽力し、消費者教育の推進及び支援に貢献。

(備考) 記載内容は原則として推薦時点のものである。

(2) 団体(3件)

(敬称略)

名称	住所	主な活動実績
きた きかい さんぎよかぶしきかいしゃ 喜多機械産業株式会社	徳島県徳島市	<ul style="list-style-type: none"> 建設機械・資材の複合専門商社として、先端技術の機器、環境保全のための施設・設備・土木工事工法を提供している当該企業は、社内外で様々な「エシカル消費」をはじめとする持続可能な社会に向けた活動に尽力。 2018年に「エシカル消費自主宣言」、2020年に「消費者志向自主宣言」を宣言。
ちばけん せいかつぎょうどうぎみあいれんごうかい 千葉県生活協同組合連合会	千葉県千葉市	<ul style="list-style-type: none"> 千葉県生協連「食・消費者委員会」を設置し、会員生協の役職員とともに、時宜に適った食の安全や消費者課題のテーマを取り上げ、学習会を実施。 フードバンクちばと連携して、2017年からフードドライブキャンペーンに取り組み、千葉県内の食のセーフティーネットづくりを促進。
とくしまけんりつ じょう うちちゅうとぎょういがっこう 徳島県立城ノ内中等教育学校	徳島県徳島市	<ul style="list-style-type: none"> 「総合的な学習(探究)の時間」においてエシカル消費に関する課題研究に取り組み、徳島県国際教育振興弁論大会において「エシカル消費」をテーマに研究発表を実施。 2021年度には、消費者と「エシカル商品」の生産者・販売者を繋ぐ実用的なアプリの開発を実施。本取組について「令和3年度全国消費者フォーラム」や「エシカル甲子園2021」において発表。

(備考) 記載内容は原則として推薦時点のものである。